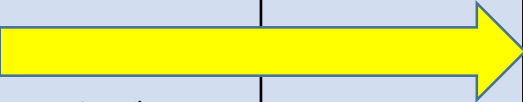
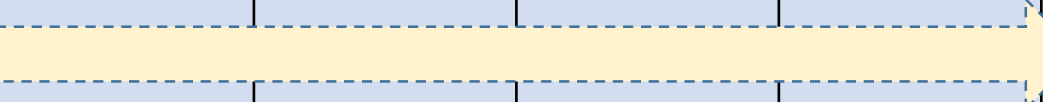

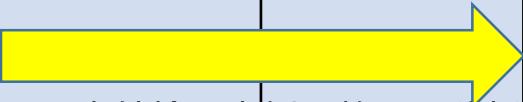
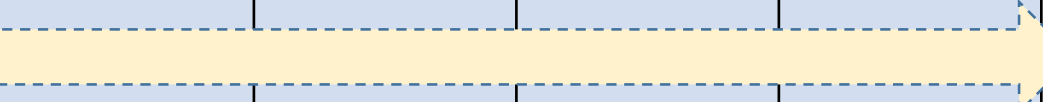

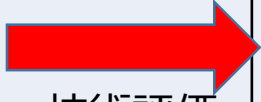



JEAC4206高度化への対応工程（案）

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
マスターカーブ法	 ・現存データ整理、分析		 ・必要に応じて材料データ取得試験			
クラッド下仮想欠陥の導入	 ・クラッド材物性データ取得、溶接残留応力分析					
高温予荷重効果	 ・国内外検証事例の整理、分析		 ・必要に応じて材料データ取得試験			
規格改定			 ・JEAC4206次回改訂		 ・技術評価	
仮想欠陥寸法の適正化	 早期に実機適用					

- 技術評価にて指摘をうけた主な事項（マスターカーブ、クラッド下仮想欠陥の導入、高温予荷重効果）について、現存データの整理・分析、材料データ取得により妥当性の検証をすすめ、事業者・メーカー・学協会で連携し、計画的に検討を進めて行く。
- また、仮想欠陥寸法の適正化については技術評価にて概ね妥当と評価いただいております。特別点検結果を規制基準に適切に反映する観点から、実機適用に向けて別途議論することを提案させていただきたい。